

令和7年3月6日

カンボジア官民合同委員会結果概要

日時：2025年2月21日(金) 東時間 09:00-12:30

場所：国立技術訓練大学(National Technical Training Institute/NTTI) 4階会議室 BANTEAY SREI

参加者数：23名

政府(3)： 柬 労働職業訓練省 職業教育訓練総局(MoLVT/DGTVET) 副総局長(1名)

労働職業訓練省 職業教育訓練総局(MoLVT/DGTVET/DSC) (4名)

日 厚生労働省(1名)、

在カンボジア日本国大使館(1名)

訓練施設(4)： ITI(2名), NTTI(5名), NPIC(2名), PPI(2名)

援助機関(1)： JICA(2名)

有識者(1)： SESPP(Skills Evaluation System Promotion Program) 事務局技術顧問

事務局(1)： JTB 霞が関事業部(2名) (別途、日東通訳1人)

1. 今年度の成果(SESPP 事務局)

(1)技能競技大会

・情報ネットワーク施工:競技課題採点・評価方法セミナー

9月23日～27日にNPICにて実施、受講者7名(7名修了)、競技者3名

10月23日～24日にカンボジア国内技能競技大会での模擬競技への指導、競技委員3名、競技者3名

(2)技能検定

・配電盤制御盤組立て2級 技能評価トライアル SET・技能評価者認定 SAC

12月9日～12月13日、ITIにて実施。評価者11名(認定評価者合格11名)/受検者4名、合格者0名

・電気系保全2級 技能評価トライアル SET・技能評価者認定 SAC

2月3日～7日、NTTIにて実施。評価者6名(認定評価者合格6名)/受検者6名、合格者2名

・機械検査3級 技能評価トライアル SET・技能評価者認定 SAC

2月17日～20日、NPICにて実施。評価者11名(認定評価者合格11名)/受検者17名、合格者9名

(3)本邦研修

・日本の技能評価制度を広く学んでもらうことを目的に、カンボジア、マレーシア、フィリピン、タイ、ラオスの技能評価制度を担当する政府関係者を日本に招聘し、日本の技能競技大会の視察、訓練施設の視察、厚生労働省・SESPP事務局からの講義等を実施。受講者8名(8名修了)

2. 次年度実施に向けた提案(厚生労働省)

①SESPP事業の最終目標:

技能評価システム(技能競技大会・技能検定)を構築することにより、技能労働者の育成及び能力向上を図る

②技能競技大会・技能検定の目標・活動

・技能競技大会・・・

目標:技能競技の実施に向けた競技課題作成、採点・評価方法、技能競技運営方法の習得

活動:日本人専門家によるセミナー

技能競技委員の訓練、国内競技大会実施への支援

・技能検定・・・

目標:国家検定制度の構築、SESPP 協力職種のアセスメントセンター認定

活動:2024 年事業のフォローアップ(技能評価トライアル)

③2025 年度の事業実施案

・技能競技大会・技能検定

2024 年度事業のフォローアップ(機械検査2級 SEM(or SAT)/SET)

技能競技大会セミナー(情報ネットワーク施工) or 技能検定新職種(機械加工)?

カンボジアの国家検定制度構築への協力

3. 官民合同委員会での主な意見

(1) 各訓練校からの発言(NPIC、ITI、NTTI、PPI)

・情報ネットワーク施工の技能競技大会セミナーとカンボジア国内技能競技大会で模擬競技を実施。

国際競技大会に出場するために、次年度も情報ネットワーク施工のさらなる指導を希望する。

(NPIC・San Sokna 課長)

・機械検査 3 級の SET と SAC を実施し、3 級については全課程を修了した。

次年度の機械検査 2 級の実施と更には機械製図 CAD 作業研修の実施を希望する。

(NPIC・Chhour Vongchivorn 氏)

・配電盤制御盤組立ては 2016 年より開始し、今回で 8 回目となる。本年度は 2 級の SET と SAC を実施した。

候補者 11 名全員が認定評価者となることができた。次年度は溶接、空調(冷凍空調和機器施工)等の職種の研修を実施してほしい。(ITI・Sreypov サービス・プロダクトオフィス責任者代理)

・電気系保全 2 級の SET と SAC を実施し、候補者 6 名が認定評価者となることができた。次年度は本職種の

1 級の研修を実施してほしい。(NTTI・Kem Sam Ath 電気系訓練指導員)

・2022 年度にシーケンス制御 2 級で 7 名の認定評価者が誕生した。以降 PPI では SESPP 支援の研修は実施

されておらず、PPI での実施を希望する。(PPI・Chy Vanny 電気工学部長)

(2)カンボジアでの今後の支援職種について

・本年度は 2024 年 8 月 1 日付でカンボジア・日本両政府による MOC を締結した。MOC の締結の遅れにより

研修実施が年度後半に集中したので、次年度も MOC 締結が必要であれば、早めに締結をしたい。

(厚生労働省・内野海外協力推進官)

- ・各訓練校から次年度実施に関して、沢山の要望いただいたので、本事業で実施できるものについては優先順位をつけて検討していきたい。(厚生労働省内野海外協力推進官)
- ・カンボジアでは現場で働く技能労働者の多くは資格を持っていない。技能評価を受ける機会を作ることをカンボジア政府に要望する。(NTTI・Kem Sam Ath 電気系訓練指導員)

以上